

# 特定社労士を筆頭とした チーム体制で顧客を支援



## 石田 和彦

いしだ・かずひこ / 1992年  
北海道大学卒業後、食品メー  
カーに研究職として入社。  
2003年社会保険労務士登録。  
07年北海道賃金労務研究所  
設立。特定社会保険労務士。

は早急な対策が必  
要だ。一方で業種  
業態に応じた個別  
対応も重要であり、  
働き方改革への対  
応も迫られている。  
経験豊富な専門家  
に相談することが  
ベストだろう。

大小さまざまな

## 社会保険労務士法人 北海道賃金労務研究所

札幌市中央区南1条西12丁目 新永ビル6階  
☎011-271-1802 <http://www.roum-tingin.jp/>

労使トラブルの増加が目  
立っているが、着目すべき  
は表面化していない離職。

「トラブルになるのはごく  
一部。企業ともめる前に辞  
めてしまうケースも多く、  
労務を軽視すれば人材が流  
出し、企業活動に支障を来  
す時代になりました」と話  
すのは、特定社会保険労務  
士で北海道賃金労務研究所  
の石田和彦代表。

同社に寄せられる労務相  
談は年間3000件以上。  
労働人口減少の中での離職  
は致命傷になると危機感を  
抱いているのだ。

社員の定着率が低い企業

企業の労務を担う同社では、  
企業ごとに最適な労務プラ  
ンを提案。特定社会保険労  
務士を筆頭とした3人1チ  
ームで顧問企業への対応に  
あたっており、質の高い統  
一化されたサービスが持ち  
味だ。綿密な調査・分析を  
おこない、生産性の向上、  
社員のモチベーションアッ  
プおよび離職防止、労働環  
境改善による採用力強化な  
どを実現させている。

「社内外の勉強会などによ  
って職員のさらなるレベル  
アップを図り、より高品質  
なサービス提供を目指しま  
す」と石田代表は語る。